

平成19年度 事務事業評価表	担当	教育委員会 図書館	内線等	3402
事務事業名	紙芝居と絵本の読み聞かせ事業		事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）
根拠法令等			Eなし	

総合計画での位置付け

基本目標	4. 豊かな心と創造性を育むまちづくり	施策名	文化
------	---------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	乳幼児から児童に対して
手 段	紙芝居・絵本の読み聞かせをすることによって
想定する成果	子どもの豊かな感性を育て、絵本との出会いの機会をつくる。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
読み聞かせ会の開催数	124回	150回	150回
参加人数	1,175人	1,643人	1,600人
読み聞かせボランティア数	10人	12人	26人

成果指標

成果指標名	1回の参加人数
成果指標の説明	参加人数 / 読み聞かせの回数

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		9.5人				11.0人				10.7人			
成果指標													
事業費	事業費	15				21				16			
	人件費	2,026				2,032				2,050			
	(人数)	正規	0.2	非常勤	0.2	正規	0.2	非常勤	0.2	正規	0.2	非常勤	0.2
	合計	2,041				2,053				2,066			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	2,041				2,053				2,066			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	より工夫をして、さらに子どもたちが楽しめる場所にしていきたい。
経済効率性	3	3	2	3	
事務効率性	3	3	3	3	ボランティアグループの協力も得て、必要最小限の人員で事業を運営している。
必要性	3	3	1	3	
小計	11	11	8	11	
施策への貢献度	3	-	3	-	これからの文化をせおっていく子どもの心を育てる事業である。
合計	14	11	11	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	B	B	未来の宝である子どもの心を育てる事業として、大切な事業である。
------	---	---	---	---	---------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
より多くの子どもさんに利用されるようアピールをすること。
上記改善点の実施状況
読み聞かせの講習会、ボランティア講習会等の実施により、読み聞かせ側の技術等の向上を図り、聞く側の子どもたちがより興味をもてるようにしている。

今後さらに改善すべき点

工夫により魅力的な会を行うこと。

平成21年度予算に反映する項目

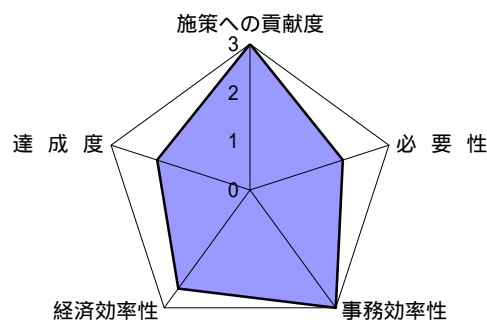
--

今後の方向性

拡大、充実

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点